

欧州特許庁の経済及び科学諮問委員会，欧州における
グレース・ペリオド導入の可能性に関する声明を公表

2015年3月19日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は，3月17日，EPOの経済及び科学諮問委員会（ESAB）が，欧州におけるグレース・ペリオドの導入の可能性に関する声明を公表した旨をプレスリリースした。これに伴い，ESABは，2014年11月に開催されたワークショップの報告書，ロンドンのコンサルティング会社 Europe Economics に委託した調査研究の報告書も公表した。

ESABは，EPO長官の諮問機関として，特許が経済と社会に与える影響について経済的・社会的研究を行い，EPOに対して助言・政策提言を行うことを目的に，2012年1月に設立されたもので，同庁のチーフエコノミストが事務局を務める。世界各国の企業の代表や大学教授等の有識者が委員として選任され，我が国からは長岡貞夫一橋大学教授が選任されている。ESABの2013年の検討課題として，「欧州単一効特許及び統一特許裁判所の経済効果」及び「経済的視点で見た欧州でのグレース・ペリオドの影響の可能性」が採択されていた。

本声明において ESAB は，欧州におけるグレース・ペリオド導入の費用対効果を総合的に評価した結論は，特に，いずれの費用ないしコストが重要視されるかに依存し，この重みづけは政治的配慮又は好みによって決定され得ると指摘。加えて，大企業・研究機関のそれぞれの視点での費用・効果が異なるなど，見方にも依存し，大企業にとっては，大学と比較して，欧州でのグレース・ペリオド導入の費用はより大きく，効果はより小さいように思われるとする。そして，グレース・ペリオドの経済効果を完全に評価するのは現時点では不可能であると結論。さらには，ESAB委員の間で欧州がグレース・ペリオドを方針として導入することについて意見の一致が得られず，一部の委員は法的不確定性の増加という悪影響を，他の委員は特許取得と学術発表との間の不整合を減少させるという好影響を，それぞれ強調したと説明する。

その一方で，ESAB委員は，通商交渉や実体特許法調和の努力の国際的な文脈が考慮されるべきであると強調し，この文脈の範囲内で，欧州は以下の2つの必須条件が満たされる場合に限りグレース・ペリオドの導入を検討すべきであると，全会一致で勧告した。

1. グレース・ペリオドは，偶発的な開示の結果を弱め，早期の学術発表を許容し，同時に，法的不確定性を限定するような「セーフティ・ネット」でなければならない。セーフティ・ネットとしてのグレース・ペリオドは，以下の特徴によって規定されることとなろう。

- － 期間について：最大で6月、起算日は優先日。
 - － 義務的宣言の要件について：いつ、どのように、発明に関するどの情報を公表したのかを明記する開示の義務的リスト。
 - － 先使用权について：誠実に（in good faith）行動する第三者には、発明を使用し続ける権利が認められるべき。ただし、そのような使用又は発明を使用するための真剣かつ効果的な準備が当該特許出願の出願日又は優先日前に開始された場合に限る。
 - － 独立した発明の開示からの保護について：グレース・ピリオドは当該出願人の発明の開示のみに対して適用され、第三者のなした独立の開示には適用されないこととなる。
2. グレース・ピリオドは、欧州に加え、少なくとも米国、日本、韓国及び中国、そして、可能であればインド及びブラジルを含む主要なグローバル特許制度において、国際的に調和しなければならない。これこそが多数の法域で特許取得を検討する事業者の利益にかなうものである。

－ EPO のプレスリリースは、以下参照 －

[ESAB statement on the possible introduction of a grace period in Europe](#)

－ ESAB の声明は、以下参照 －

[2015 Statement: Introducing a grace period in Europe? \(PDF\)](#)

－ ワークショップの報告書は、以下参照 －

[Workshop Report: The economic effects of introducing a grace period in Europe, initiated by the EPO Economic and Scientific Advisory Board \(PDF\)](#)

－ グレース・ピリオドの経済分析に関する委託調査研究報告書は、以下参照 －

[Economic Analysis of the Grace Period \(PDF\)](#)

－ ESAB については、以下参照 －

[Economic and Scientific Advisory Board \(ESAB\)](#)

－ ESAB に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁の経済及び科学諮問委員会、欧州単一特許に関する声明を公表（2014年5月2日）\(PDF\)](#)

[欧州特許庁の新チーフエコノミストに van Dijk 氏が着任（2013年9月5日）\(PDF\)](#)

[欧州特許庁の経済及び科学諮問委員会、特許制度改善のための勧告を公表（2013年3月15日）\(PDF\)](#)

[欧州特許庁、経済および科学諮問委員会を設立（2012年1月16日）\(PDF\)](#)

(以上)